

令和6年4月3日 第一版
令和6年9月15日 第二版

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題：バスキュラーアクセスに対する超音波エコーの臨床評価～KT/Vと比較した後ろ向き観察～

1. 研究の対象

藤田医科大学病院血液浄化センターに2021年4月～2028年4月の間、維持透析を実施した18歳以上患者

2. 研究目的・方法・研究観察期間

1) 研究の目的

血液透析は、血中老廃物を効果的に除去するため十分な血液量を確保する必要があります。一般的には、動脈と静脈をつなぎあわせるシャントの増設をおこないますが、シャント狭窄や閉塞が生じることもあります。当院血液浄化センターでは、シャント管理としてこれまでシャント管理は定期的実施される採血のデータやシャント音の聴取などで管理していました。2021年4月より超音波エコーを導入し、定期的にシャントエコー検査を実施しており、その結果シャントが狭窄していた際の治療として経皮的血管拡張術（以下 PTA）件数が大幅に増加しました。そこで、超音波エコー検査の有用性を評価検討します。

また、日本臨床工学技士会の「臨床工学技士のためのバスキュラーアクセス日常管理指針」に記載されているシャントトラブルスコアリング（以下 STS）や超音波エコー検査と相関性があるとされる電子聴診器（以下 HVSI）も同様にシャント閉塞を防ぐ指標となるため、その検討も行います。

2) 研究方法

2021年4月～2028年4月に当院血液浄化センター維持透析患者に対し、

- ・定期検査の採血・データより、KT/V（透析効率を評価する指標、STS シート、HVSI 記録）など
- ・シャントエコー検査の記録より、血管血流量や血管抵抗値など
- ・シャント処置記録（PTA 記録、血栓除去術記録など）

を後ろ向きに観察します。

3) 研究期間

倫理審査委員会承認日～2029年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテ：定期採血データ、シャントエコー検査の記録、VA処置記録（経皮的血管拡張術（PTA）記録、血栓除去術記録）STSシート、HVISI記録等

観察スケジュール：2021年4月1日～2028年4月1日

4. 外部への試料・情報の提供

なし

5. 研究組織

研究責任者：藤田医科大学 医学部 腎臓内科 教授 坪井直毅

6. 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

問い合わせ先：

藤田医科大学病院 臨床工学部 血液浄化センター

担当者：新典雄、薦村琴子

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2237

e-mail:kidney@fujita-hu.ac.jp